

日系企業動向

特益得（上海）投資諮詢 日中間のコンサル本格化 ビジネスセンターの展開も

不動産投資コンサルの特益得（上海）投資諮詢は3月から、日中間のコンサルティングビジネスを本格展開する。親会社の日本法人デ・リードと連携して対中、対日向けのビジネス進出の支援を行う。その受け皿として、東京と大阪、上海に複数のビジネスセンターを設立する。

同社は「東アジアビジネスソリューション構想」を掲げており、日中間の経済交流を支

援。上海では主に日系企業の中国進出をサポート。会社登記や記帳代行、マーケティングのほかビジネス提携から企業のマッチングまで幅広く対応する。

年内にも静安区に建設中のビル、越洋広場（パークプレイス）のワンフロアにビジネスセンター「グラン・クリュ・ジンアン」をオープンする。入居は3か月から、価格帯は月々1万～3万元程度になる見通し。

日系、外資企業をターゲットに、交通アクセスの良さや、日系企業ならではのきめの細かいサービスを売りとする。そのほか、郵便物の受け取りや電話代行サービス、事務サービスなどのオフィス業務代行サービスも提供する。

今後、淮海中路エリアや外灘もしくは人民広場エリア、浦東新区陸家嘴にも各種ビジネスセンターを開設する方針。

そのほか、寧波にオフィスビルや宿舎付きの大規模リース工場「日本工業団地」を展開。寧波政府と連携して、日系、外資企業の誘致を行っているほか、地元の投資家向けにセミナーも開催する。